



トッキーの 市政トーク

四日市市長
田中 俊行

皆さん、こんにちは！トッキーこと、市長の田中俊行です。

今回は、JR四日市駅周辺の活性化について話したいと思います。

中心市街地の中でも、JR四日市駅周辺は、時代の流れとともに賑わいがだんだんと失われていきました。駅前広場をJRと市が部分所有していることなど、さまざまな事情があり、これまで、なかなか活性化の方法が見い出せない状況が続いてきました。

しかし、最近、駅前広場で毎月

JR四日市駅周辺の活性化

4日に定期市が開催されるようになりました。先日訪れてみたら、ミニコンサートも開催されるマーケットで、市内外の生産者やお店、料理人と消費者が楽しく交流しながら買い物をしていました。その場で食べるスペースもあり、今後は市も関わって、公民連携で活性化の仕組みができないか検討したいと考えています。

一方、隣接する本町通り商店街では、地元の高校生とのコラボでイベントが開催されたり、NPOによる買い物ツアーが実施されたりしています。

市としては、JR駅のエレベータ

ー設置が完了したこともあり、JR東海とも協議しながら、新たな活性化策を模索し、魅力ある交流拠点づくりに取り組んでまいります。



JR四日市駅前広場で開催されている「四日の市」(毎月4日に開催)

みえ水素ステーション四日市

先日、燃料電池自動車に、燃料となる水素を供給する三重県第一号の水素ステーションが、市内にオープンしました。水素は、燃焼させると酸素と結びついて水になることから、CO₂を出さないクリーンなエネルギーであり、コンビナートの副産物としても発生します。

本市としては、こうした条件も生かしつつ、未来に大きな可能性を秘めた水素という新エネルギーを活用し、企業と協働で新たな事業の構築を研究していきます。自動車に限らず、水素が私たちの生活にとって身近な存在となる日もそう遠くないことから、今回の水素ステーションの設置を契機に、本市が、来たるべき水素社会の先駆けとなれるよう、積極的に取り組んでまいります。



みえ水素ステーション四日市
(住友電装・四日市物流センター内)

トピックス

ジュニア・サミット in 三重

伊勢志摩サミットに先駆けて、G7の高校生28人が集うジュニアサミットが開催され、「四日市公害と環境未来館」が視察先として選ばれました。

公害の歴史と教訓とともに、きれいな空気や青空を取り戻した環境改善の取り組みを情報発信する施設として、「次世代につなぐ地球～環境と持続可能な社会」という討議のテーマにぴったりマッチしていることが外務省に評価されたものです。

私から本館設立の意義を説明した後、館内を熱心に見学してもらいました。人間にとって環境がいかに



廃棄物の削減の必要性
について説明

に大切か、環境を守りながら、経済を発展させるためにはどうしたらいいか、高校生たちの議論の材料を十分に提供することができたと思っています。

有料広告掲載欄

～地域とともに160有余年 事前のご相談から至急のご依頼まで 葬儀のことなら24時間365日～



株式会社 **ふじや本店**
光倫会館
0120-114248

- 本社／四日市光倫会館
〒510-0836 四日市市松本町北大谷 2015
【TEL】059-351-1151 【FAX】059-351-4224
- 光倫会館 桜ホール
〒512-1211 四日市市桜町 6613
【TEL】059-325-2482 【FAX】059-325-2482
- 富田光倫会館
〒510-8014 四日市市富田2丁目 3-7
【TEL】059-361-2481 【FAX】059-361-2482

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。

■人口 312,127人 [4月末日現在(前年比-390)] ■火災件数 10件 [4月分(前年比+7)] ■交通事故件数 901件 [4月分]